

私ははっとした。父が小学生の頃よく三重
漁港にある橋の下からウナギを釣っていたと
言っていたからだ。ミミズをエサにしていた
と言っていたが、この本に書いてあるとおり
だ。一度父につれられてその川に行つたこと
があるが確かに海と川のつなぎのところだっ
た。ウナギは海で産まれて川をさかのぼる
という言葉に納得した。おぼけ池は自然の宝
庫で、いつも私が生活している世界にはない
生き生きとした世界だった。

私は習い事に忙しく普段森や川に行くこと
はない。弟はゲームばかりだが、最近昆虫や
動物に夢中になつてゐる。カブトムシ、ワワ
カタにはまつてゐるときはさとう水など夜木
にぬつて、朝からしかけを見に行つたりした。
しかしありが来ているだけではない。こう木の
下や道はたでみつけることが多い。メダ
カや金魚、ゼニガメを今飼つてゐる。しかし
全て買って来たものだ。川でさがしたかなか
なかつかまらぬ。今年の夏つかまえたのは

カナヘビとトカゲだ。これは弟がキャンフに
行つたときに必死になつてゲットしたもの。
今工サのコオロギやイモムシを見つけるのに
苦労している。家でペットとして飼う現代人
が多い世の中であるが、昔はきつと家の近く
にこんな動物はたくさんいたはずだ。ペット
シヨツプで売られるメダカやカメ、ザリガニ
など絶滅危惧種であることにギ間を感じる。
弟がほしかつたザリガニはペットシヨツプ
で一匹約二千元。母は昔近くの湖でよくつか
まえてきたけど、売られていることに不満気
だつた。さらに母は近くにカツパ池といわれ
る池があつて、小学生の頃友達とエビや夕ニ
シをつかまえて遊んでいたと言つていた。父
や母にある経験はヒロキやユウヤと同じよう
な自分の足で動き、手でさわつて、目で見る
体験だ。ユウヤが言つた知識より体験とい
う言葉は私の心にひびいた。大ウナギを釣
りあげる場面は自分もわくわくした。釣りあ
げたときの嬉しさや楽しさが強く伝わつてき

た。図鑑ではわからない自然とふれ合う楽し
さが体験するということなんだと思う。

最近池の水を全てぬいてどんな生物がいる
のか調査するTV番組がよくあるが、外来生
物の多さにおどろく。ペットをすてる。ペッ
トとして売るためたくさんほかくする、人間
の勝手な行動で現代の森里河海は変化してい
る。だから最近はへった、見ないという生物
が多いのだ。ヒロキやユウヤが楽しい冒険を
して成長していったように私も成長できる自

然という環境が必要だと思う。人間と生物が
バランスよくくらし、地球環
境はやさしいことは何か考えなければならな
い。まずは自然のしくみをよく知ることに
だから私けたくさん自然とふれ合い、体験
をふやしたい。